

本会では主に市区町村や企業などが行う、成人向けの生活習慣病予防対策事業を応援しています。既に平成19~20年にかけて「メタボリックシンдро́м」と心疾患の予防講習会・助成事業として全国50か所のセミナーを行つてきました。実施後のアンケートでは、「大変役に立つた」が最も多く、成績も高いと評価されました。

八王子市で行つた健康指導イベント「メタボリックシンдро́мと動脈硬化の関係／血管年齢を測つてみる／わかること」を開いて、「メタボリックシンдро́м」(写真)では、基調講演を、本会よりご紹介した講師が「メタボリックシンдро́м予防の秘訣」というテーマで行いました。実施後のアンケートでは、「大変役に立つた」が最も多く、成績も高いと評価されました。

本会では主に市区町村や企業などが行う、成人向けの生活習慣病予防対策事業を応援しています。既に平成19~20年にかけて「メタボリックシンдро́м」と心疾患の予防講習会・助成事業として全国50か所のセミナーを行つてきました。実施後のアンケートでは、「大変役に立つた」が最も多く、成績も高いと評価されました。

生活習慣病予防対策事業への助成

申請受付中

講師をご紹介いたしま
す。ぜひ本助成事業を
活用ください。

【助成の内容】講師謝金と交通費、会場費の一部（必要な場合）を本会にて負担。

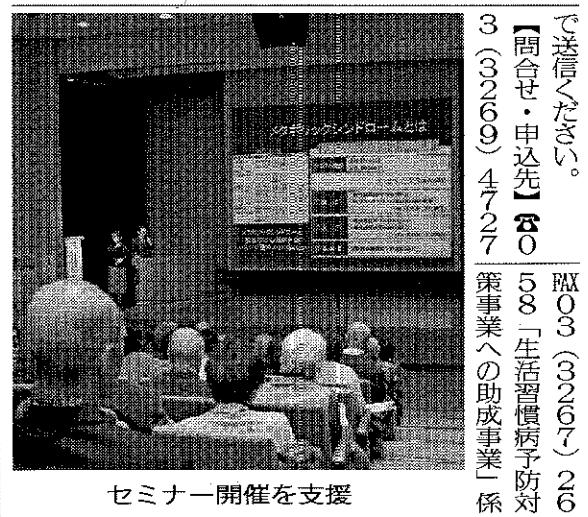
【助成の条件】▽講師は本会から紹介。指定、変更等は一切できません！

【申請方法】申請書をお送りいたします。用紙に「生活習慣病予防セミナー終了後に報告書、アンケートの提出をお願いしています。セミナー開催を支援

【助成件数】15件（申込み多数の場合を調整をさせていただきます）

【助成期間】平成22年8月以降のセミナー※平成23年度以降に検討されている場合は、相談ください。

【お書きのうえ、FAX】



第7回思春期保健相談士学術研究大会 一般学術演題報告より⑦

家庭医もぜひ思春期ケアの担い手に！～家庭医に対するワークショップ実施報告～

三重大学医学部附属病院総合診療科 稲田 美紀

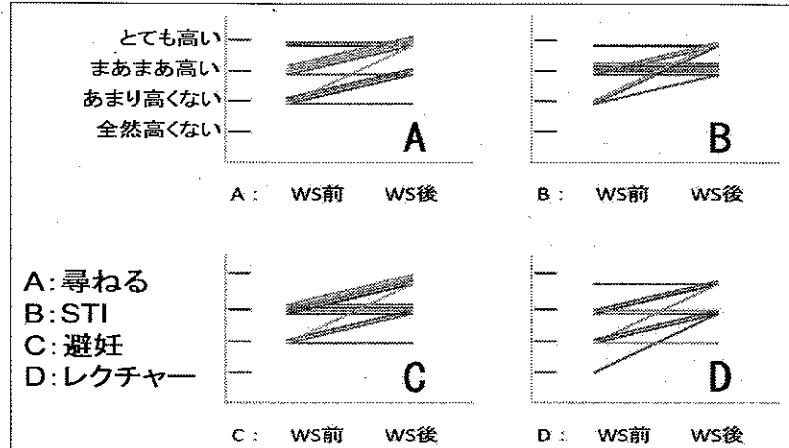


図1 優先度

家庭医とは、幅広くいろいろな疾患に対応できると同時に、医療のみではなく、予防や福祉などでもかかる医師である。

小児も成人も対象として、身体のみでなく心理面や社会面も考慮し、個々については苦手意識を持つている家庭医も多い。筆者は2008年3月に「東海家庭医療勉強会」、6月に「日本家庭医学会」、6月に「日本家庭医学会」、6月に「日本家庭医学会」を行つた。

人だけでなく家族や地域を視野に入れたケアを提供する。しかし、思春期を視野に入れたケアを提供する。しかし、思春期を視野に入れたケアを提供する。

（以下WS）で、避妊・性感染症予防を中心とした思春期ケアを行つた。

9年4月に上記WS参加者に對し、WS前後での行動や意識に関する調査を行つた。

WS前と、WS後から9年4月経過、過去現在の性行為経験・相手、避妊の方法などについて尋ねた。

WS前とWS後から9年4月経過、過去現在の性行為経験・相手、避妊の方法などについて尋ねた。

WS前とWS後から9年4月経過、過去現在の性行為経験・相手、避妊の方法などについて尋ねた。

WS前とWS後から9年4月経過、過去現在の性行為経験・相手、避妊の方法などについて尋ねた。

WS前とWS後から9年4月経過、過去現在の性行為経験・相手、避妊の方法などについて尋ねた。

WS前とWS後から9年4月経過、過去現在の性行為経験・相手、避妊の方法などについて尋ねた。

9年4月に上記WS参加者に對し、WS前後での行動や意識に関する調査を行つた。

WS前とWS後から9年4月経過、過去現在の性行為経験・相手、避妊の方法などについて尋ねた。

WS前とWS後から9年4月経過、過去現在の性行為経験・相手、避妊の方法などについて尋ねた。

WS前とWS後から9年4月経過、過去現在の性行為経験・相手、避妊の方法などについて尋ねた。

WS前とWS後から9年4月経過、過去現在の性行為経験・相手、避妊の方法などについて尋ねた。

WS前とWS後から9年4月経過、過去現在の性行為経験・相手、避妊の方法などについて尋ねた。

WS前とWS後から9年4月経過、過去現在の性行為経験・相手、避妊の方法などについて尋ねた。

ティプ・ヘルスの推進を目指して



保健相談員に相談する母親



母子健康手帳の効用を説明する医師

JICAでは世界各国の様々な分野でプロジェクトベースの技術協力の支援を行うと同時に、日本に海外の技術研修員を招く本邦研修を長きにわたって行っている。さらには言語や文化を共有する国々を対象に、第二回国（本稿ではニュージニア）に第三国（研修対象国）の研修員を招き、研修を実施する第三国研修（2コースで毎年4人、も展開している。

しかし研修事業に関しては、その成果が見えにくいという評価もある。そこで、チュニジア国で昨年度から開始した第三国研修では、研修プログラムの成果を「目に見える」ものとするために、単に第一国での研修の実施だけではなく、研修に参加する各国の研修員（2コースで毎年4人、

た「ミレニアム開発目標(MDG)」は、2015年までに①極度の貧困と飢餓の撲滅、②初等教育の完全普及の達成、③ジェンダーの平等推進と女性の地位向上、④乳幼児死亡率の削減、⑤妊産婦の健康の改善、⑥日本

MDGに明記されたリブロダ
クティブ・ヘルスの推進

国際協力機構（JICA）では、昨年度からチニニア国において仏語圏アフリカ諸国の専門家を対象に、妊娠婦死亡減少を目標とした、望まない妊娠とHIV予防のための新たな第三国研修を開始した。これは、JICAが長年チニニア国で行つたりプロダクティブ・ヘルスの技術協力が、確実に波及し、大きな成果を上げていることから、同国をアフリカ支援のモデルとして使うものである。そしてそのノウハウを仏語圏アフリカ諸国に伝えるために、昨年度から新たな3年計画を実施している。その内容は、仏語圏9か国のリプロダクティブ・ヘルス政策を担う政府の中堅幹部への研修と、数か国での帰国研修員の自助努力に対し、JICA及びチニニア国専門家の協力によって構築される。

現のためには、望まない妊娠の防止や、出産間隔など、すべての女性が避妊する手段を持ち効果的に利用できるようにする、リブロタクティア・ヘルスの推進が図られなければならない。しかし米国の強固な反対により、その普及が明文化されなかつたため、各國でヘルスの推進が確実され、「2015年までに、誰もがリブロタクティア・ヘルスを実現し、人々がサービスを受けられるようになるようにする」という新たな課題が⑤に追加されるようになるに至る。

(木谷理事・上田専門家・上原理事 小笠井 春雄)

リプロダクティブ・ヘルスの普及が遅れ、妊娠婦死」の減少にブレークがかかるつてしまつた。

仏語圏アフリカでの妊娠婦死
亡減少に向けて

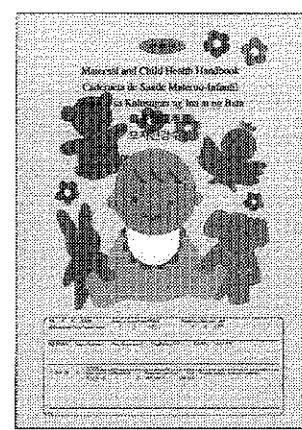
50万人以上、その90%はアフリカとアジアで起き、特にサハラ砂漠以南のアフリカで顕著となっている。

そこでJICAでは、昨年度より仏語圏アフリカ諸国でMDG⑤の妊産婦死亡率の減少に向け、望まない妊娠とHIV対策に焦点をあてたりプロダクティブ・ヘルスの推進を図るため、仏語圏の9か国を対象に、指導者養成研修をチュニジア国人口家族庁(ONFP)とともに開始した。その対象国はチャド、ベナ

ジア国が家族計画政策をいち早く取り入れ全国に普及したこと、さらに筆者が関わった青少年リブロダクティブ・ヘルス、プロジェクトが国家プログラムとして大きな成果を上げていることにある。研修は「戦略策定」と「行動変容プログラム策定」の二つのコースで、筆者がコースリーダーを担い、各国からそれぞれ2人ともONFPの2人含め、各20人で3週間、3か年計画で開催している。

僻地巡回診療に同行

お問い合わせ・ご注文は (社)日本家族計画協会へ TEL 03-3269-4727 FAX 03-3267-2658



新作 4カ国語に「中国語」「韓国語」が追加され、 6カ国語版母子健康手帳

市区町村窓口にぜひご用意して下さい!冊です!!

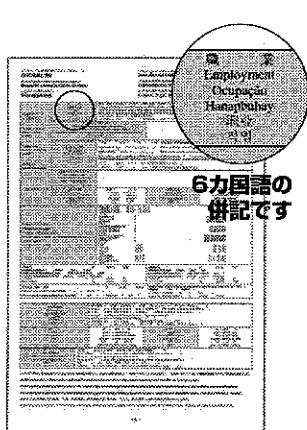
ポイント

- 全国の市町村からのご要望にこたえて6カ国にリニューアルしました
 - 6カ国語になり、これ1冊で対応できるようになったので急な外国人来訪者にも安心
 - 1冊にまとまっているので各言語で用意する必要がなく、無駄が省ける

■仕様：A4判・60頁
表紙カラー／本文2色刷
■定価：1,800円+税

記載言

- ・日本語
 - ・英語
 - ・ポルトガル語
 - ・タガログ語
 - ・中国語 NEW
 - ・韓国語 NEW





HIV検査センターで



PCM問題解決ワークショップで



グループワークの報告書作成

仮語圏アフリカでのリプロダク

チューイジア国と日本の経験に 学ぶカリキュラム

研修では、両コースの必須カリキュラムとして、最初に、アフリカでいち早く政府主導による積極的な家族計画政策を進め、全土にその普及を行き渡らせ、包括的リプロダクティア・ヘルス・プログラムとして展開し、高い成果を上げている、チューイジア国の方々を学ぶ。国連の推計では、チューイジア国の避妊普及率は66%、妊娠婦死率は出生10万対100（チューイジア国政府の公式統計は36）等、各種統計に

おいてアフリカの成果を上げている。

続いて、日本家族計画協会が1958年に企画した映画「家族計画第一歩」（桜映画社制作）を

基本に、戦後日本で進められた寄生虫撲滅運動などの公衆衛生普及活動の様子を組み合わせた「健康は人々の手で（英語タイトル）"Health by the people in Japan"」

アフリカの研修員の持つ日本のイメージは、工

第三国におけるプログラムの推進がスムーズに行われ、確実に成果をもたらすように導く必要がある。そしてなによりも成功に導くためには、JICAとONFDPとの密接な連携のもとに、第三国専門家への助言支援はもとより、JICAの在外事務所の協力も得て、

功への意欲を持たせるためには、専門家の意欲を高めることが必要である。

業化の進んだ超近代的な国家である。しかし映像のスタートでは、第二次世界大戦で敗戦により焦土化した日本の都市や、国会議事堂の前まで開墾しなければならないほど疲弊し、食糧難に苦しむ貧しい日本の姿が映し出される。この姿にアフリカの研修員は言葉を失い、「これが日本?」

研修では、次に妊娠婦死亡減少を目指した望まない妊娠とHIV/AIDS予防という課題の中

でもうべ、そこでは、日本的小中高校生等を対象とした赤ちゃんとふれあい体験学習と、妊娠シミュレーションを経て、両研修「行動変容」を実践的に学ん

女性たちであつたことによる生活改善運動が展開されていく。アフリカの研修員たちは、その主役が及員もまた女性である。

訪問のあり方を実際に見、その中から多くのこ

とに、いつた状況を解決するためのディスカッショーンを通じて、両研修「行動変容」への系

統は妊娠や出産にいかに安易な性交渉を持たないことを体得し、それを見

ることを体得し、それを見

ることを体得し、それを見

ることを体得し、それを見

めるという児童婚などの課題も報告されている（ユニセフの「世界子供白書」では西アフリカや

中部アフリカでの児童婚の発生率は44%）。また若年で性関係を持つことは、リプロダクティブ・ヘルスに関する知識の欠如からくる望まない妊娠のリスクを高め、ひいては学業の中止などへつながっている例も

あるが、初めて体験するこのアプローチを通して、両研修とも、疑似体験をするのは男性の研修員

であるが、初めて体験するこのアプローチを通して、両研修とも、疑似体験をするのは男性の研修員

であるが、初めて体験するこのアプローチを通して、両研

思春期性教育 今、大切な指導のポイント

① 教育現場と連携し、生きる力を育むために

(2)

よりは「自分には関係のない病気」だったようで

「他人事」と書いて語る

「他人事」だと読むスラ

イド(図1)を出しながら、ぜひ語り手自身にどう語ってください。

「他人事」でした。

母子感染でHIVに感染して死んでいく子ども達が、なぜか「うにしたんですか」と突つ込んでいました。もちろんしていません。性感染症は岩室紳也によってアフリカへボランティア活動を行った彼女

は、当然のことながら工場でHIV/AIDS検査を行いました。当時の統計では、HIV/AIDSが感染者はまだ100人ほどしかいませんでした。友人の保健師、北山翔子さんがアフリカでHIVに感染したという話を知った時に私が投

げかけた言葉でした。

コンドームを使わないよ

うにしたんですか」と突

つ込んでいました。もち

ろんしていません。性

感染症は岩室紳也によってアフリカへボランティア活動を行った彼女

は、自然のことながら工

場でHIV/AIDS検査を行

いました。受ける人たちは出産前

提として産婦人科を受診

する人たちは。望まな

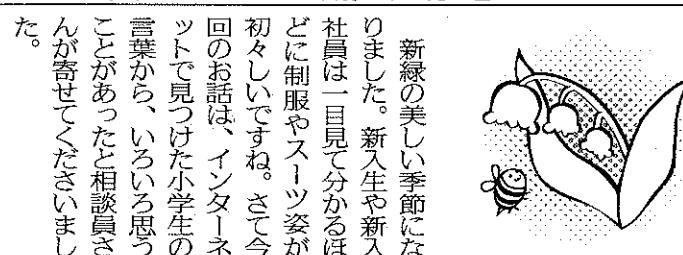
い妊娠の結果、人工妊娠

中絶を受ける人は母子感

染症は岩室紳也によってアフリカへボランティア活動を行った彼女

は、自然のことながら工

<p



マに子どもからの手紙を集めめたサイトを見て、ある小学生の文章に目がとまりました。「お母さんは若くして私を産みました。それで高校へは行かずに私を育ててくれました。(中略) 仕事も家事も頑張るお母さんのかわりに、私が一生懸命勉強して高校へ行きました。そして、お母さんのかなえられなかつた夢を立たれることがないようだと思いました。うに」と思いました。思春期ホットラインにも思いました。思春期ホットラインは、このよな、素直で

先日、「卒業」をテーマに子どもからの手紙を見て、ある小学生の文章に目がとまりました。「お母さんは若くして私を産みました。それで高校へは行かずに私を育ててくれました。(中略) 仕事も家事も頑張るお母さんのかわりに、私が一生懸命勉強して高校へ行きました。そして、お母さんのかなえられなかつた夢を立たれることがないようだと思いました。うに」と思いました。思春期ホットラインは、このよな、素直で

ると思いませんが、制服姿の思春期の子どもたちがこのような人生を左右する選択の岐路にいきなり急避妊。予期せぬ事態に直面したその声からは、墓をもつかむような思いが伝わってきます。月経の遅れで初めて妊娠している問題に直面しているケースもあります。そんな女性と話していくと、学業を中断するこ

り、自分が親になるとどう心の準備も経済的な基盤も何もないというのが一番大きな理由のようになります。妊娠は決して突然起こる性行為の結果としての妊娠ではありません。いつも隣り合わせです。産みたいときに産むために託児ルームが大学内にあります。女性がそういった環境に身を置ける訳ではありません。

緊急避妊を希望する若者の中には、学業とともに制服やスース姿が初々しいですね。さて今度お話しは、インターネットで見つけた小学生の言葉から、いろいろ思うことがあります。それがかなえられます」。こんな選択は女性の権利であつた。



診療は毎週火、金、第2土曜

●思春期・FHPホットラ イン	●東京都・女性のための 健康ホットライン	●電話相談
3(32609)7700	3(32609)7700	3(32609)7700

●思春期ホットライン 診療予約・問合せ	●東京都・不妊ホットラ イン	●東京都・女性のための 健康ホットライン
3(32609)7455	3(32609)7455	3(32609)7455

www.jipa-clinic.org/

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

26388

